

脊椎外来

脊椎の病気は、首や腰の痛み、神経の麻痺など症状は様々なため、診断・治療には高い専門性が必要です。

当科では日本脊椎脊髄病学会認定の脊椎脊髄外科指導医 2 名が診療を担当します。

- 対象とする疾患は、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎分離症、腰椎すべり症、脊髄症、靭帯骨化症、骨粗鬆症性脊椎骨折、後弯症・後側弯症など多岐にわたります。これらの疾患に対して保存療法(手術以外の治療法)から手術まで様々な治療を提供しています。
- 問診、診察、およびレントゲン・CT・MRI などの画像検査で診断を行い、内服や湿布などの薬物治療、ブロック注射などの保存療法を実施しますが、効果が見られない場合は手術も行います。
- 手術に際しては、脊髄神経モニタリング装置や、脊椎ナビゲーションシステムを使用し、安全な手術となるよう努力しています。

代表的手術

- ・ 骨粗鬆症による脊椎骨折にセメントをつめて安定化させる経皮的椎体形成術
- ・ 腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内酵素注入療法(ヘルニコア)
- ・ 低侵襲の側方椎体間固定術

※脊椎内視鏡手術は行っておりません。

脊椎疾患の診察には時間を要するため、初回受診時の待ち時間はかなり長くなっておりますのでご了承ください。